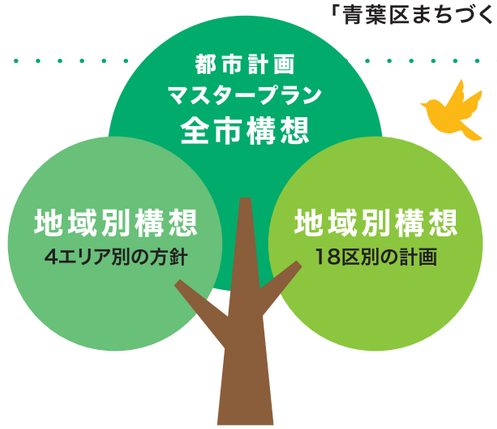
青葉区まちづくり指針を改定します。

横浜市では、2040年に向けた新たな将来都市像とまちづくりの方向性を示すため、
「都市計画マスタープラン※」の改定を進めています。
青葉区でも、将来の人口構造の変化やまちのリニューアルを見据え、
区民の皆さんから青葉区の魅力や将来のまちの姿についてのご意見をお聞きしながら、
「青葉区まちづくり指針」の改定を進めていきます。



青葉区まちづくり指針とは？

「青葉区まちづくり指針」は、将来に向けた青葉区のまちづくりの方針を示すものです。横浜市が改定を進める「都市計画マスタープラン※」は、「全市構想」と「地域別構想」の2つで構成されており、「青葉区まちづくり指針」は**「地域別構想」**に位置付けられています。改定後は「地域別構想」が「4エリア別の方針」と「18区別の計画」に分かれ、**「青葉区まちづくり指針」**は**「18区別の計画」**として位置付けられます。

※ 都市計画マスタープランとは
市町村の都市計画に関する基本的な方針で、「横浜市中期計画」や「地域福祉保健計画」などの各種計画とも整合を図りながら策定します。

青葉区ってこんな街！

青葉区の概況

30万人が暮らすまち
人口は市内で2位。子供も多い横浜市有数の居住エリアです。
男性の平均寿命は全国トップクラスを誇ります。

緑あふれる美しい街並み
計画的に整備された住宅地が多く、公園や街路樹、建築協定の数は市内1位。良好な住環境があります。

田園都市線沿線のまち
都心へのアクセス性が良く、たまプラーザ駅や青葉台駅を中心に、ショッピングやグルメのお店が集まっています。

都市と農が共存するまち
田んぼの面積は市内1位。
農業が身近で、採れたての地元野菜を手に取ることができます。

学びのまち
市立小学校・中学校の数が多く、学習塾などの数も市内1位。
6つの大学が立地するなど、教育環境が充実しています。

安心安全なまち
内陸部の地盤の安定した丘陵地に位置します。
犯罪発生件数が比較的少なく、地域の防犯活動も活発です。

改定スケジュール

令和8年度		令和9年度		令和10年度		
市民アンケート	区民アンケート		素案	・・・意見反映・・・	原案	・・・意見反映・・・ 策定
	現在		◎意見募集 ◎素案説明会		◎意見募集	



青葉区まちづくり指針の改定に向けた区民アンケート

【回答期間】 令和8年10月21日（水）― 11月30日（月）

青葉区まちづくり指針の改定にあたり、青葉区の魅力や将来像などについて、区民の皆さんの声を伺うアンケートです。
設問数は全11問あります（自由記入欄含む）。回答にかかる時間は、5分程度です。全ての質問にお答えください。

内容はWEB・用紙ともに同じ内容ですので、どちらかの方法でご回答ください。

① WEBの回答フォームから回答

二次元コードから
フォームへアクセスし、
ご回答ください。

② アンケート回答用紙から回答

こちらの回答用紙にご記入の上、お近くの市民利用施設（地区センター・コミュニティハウス・地域ケアプラザ）の回収箱に投函してください。

郵送の場合：〒225-0024　青葉区市ケ尾町31番地4
青葉区区政推進課まちづくり調整担当　宛

問1　あなたの年代を教えてください　該当する選択肢の□にチェック

□ 10代以下　□ 20代　□ 30代　□ 40代
□ 50代　□ 60代　□ 70代　□ 80代以上

問2　あなたの性別を教えてください　該当する選択肢の□にチェック

□ 男性　□ 女性　□ 回答しない

問3　お住まいのご住所の、郵便番号を記入してください

□□□－□□□□

問4　普段ご利用の駅を教えてください　該当する選択肢の□にチェック

□ たまプラーザ駅　□ あざみ野駅　□ 江田駅
□ 市が尾駅　□ 藤が丘駅　□ 青葉台駅
□ 田奈駅　□ 長津田駅　□ 恩田駅
□ こどもの国駅　□ その他

問5　青葉区との関わりを教えてください　該当する選択肢の□にチェック

□ 青葉区に住んでいる　□ 青葉区外から通勤している
□ 青葉区外から通学している　□ その他

問5-2　問5で「青葉区に住んでいる」と答えられた方は、住んでいる期間を教えてください　該当する選択肢の□にチェック

□ 5年未満　□ 5年以上　□ 10年以上

問6　あなたの家族構成を教えてください　該当する選択肢の□にチェック

□ 一人暮らし　□ 夫婦・パートナーのみ　□ 親と子（2世代）
□ 親と子と孫（3世代）　□ その他

問7　今の青葉区の好きなところ（魅力）を教えてください　※最大3つまで選択

□ 都心までのアクセスが良い
□ 身近な農地で採れた新鮮な農産物を食べることができる
□ 寺家ふるさと村など、自然豊かな農景観や谷戸風景が残っている
□ 川沿いの桜や遊歩道など、水辺に魅力的な空間がある
□ 計画的に整備された道路や街路樹、公園が多く、美しい街並みがある
□ 大学や高校、学習塾など、教育環境が充実している
□ 地域のつながりやコミュニティが活発である
□ スポーツ・文化・芸術活動が活発である
□ 魅力的な駅前の商業施設や特色ある商店街があり、商業機能が充実している
□ 治安が良く、安心して暮らすことができる
□ その他［　　］

問8　今の青葉区の気になるところ（課題）を教えてください　※最大3つまで選択

□ 少子化・高齢化が進んでいる
□ 管理が行き届いていない空き家・空き地が増えてきた
□ 周辺の道路がいつも混雑している
□ バス便の減少など、交通利便性が低下している
□ オフィスやワークスペース等、働く場所が少ない
□ 坂道が多く、最寄りの駅やバス停までの移動が不便だ
□ 駅周辺の建物の老朽化、空き店舗が目立っている
□ 身近な場所にお店がなく、日頃の買い物に不便している
□ 緑や自然が減ってきている
□ こどもが遊べる場所・居場所が少ない
□ 魅力的な飲食店や店舗、商業施設が少ない
□ 福祉的なサービスを受けることができる場所が少ない
□ その他［　　］

問9　将来の青葉区が「住み続けたいまち」であるために、特に重視すべきテーマはどれだと思いますか　※最大3つまで選択

□ 豊かな緑と良好な住環境の維持
□ 若い世代や子育て世帯に選ばれるまちづくり
□ 障害の有無や年齢に関わらず誰もが暮らしやすい環境づくり
□ 安全・安心な暮らしの確保
□ 駅を中心とした、にぎわいと魅力があふれるまちづくり
□ スポーツ・文化・芸術活動を支えるまちづくり
□ 身近な場所で買い物・飲食ができる、生活利便性の向上
□ 住民同士がつながり、身近な地域でのまちづくりに取り組める環境づくり
□ ライフスタイルに合わせた、多様な働き方が選べるまちづくり
□ その他［　　］

問10　その他、選択肢になかった青葉区の魅力や課題、青葉区のまちづくりに関してご意見があれば自由にご記入ください

ご協力ありがとうございました。

入場無料

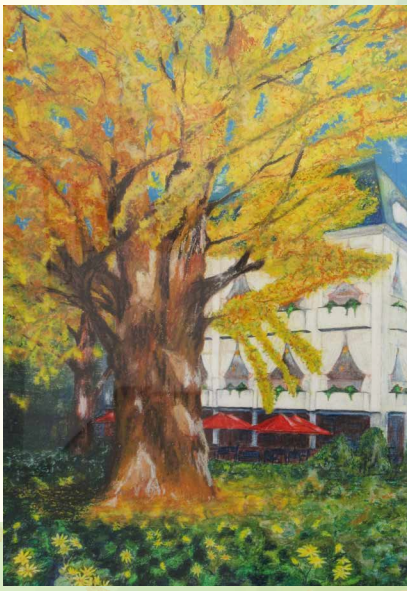
青葉区民芸術祭 2026

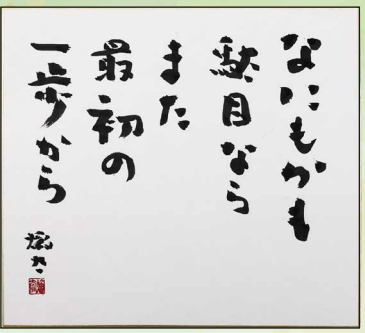
作品展









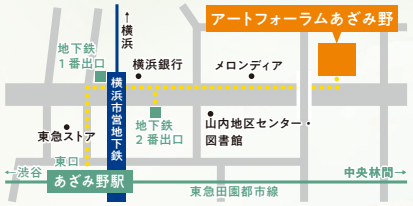






会場 横浜市民ギャラリーあざみ野（アートフォーラムあざみ野）

東急田園都市線・横浜市営地下鉄「あざみ野駅」下車 徒歩５分／青葉区あざみ野南1丁目17－3



前期 令和8年 11/25（水）▼ 11/30（月） 10:00～17:00（最終日は 16:00 まで）

- 絵 画展
- 文 芸・俳画展
- 書 道展

後期 令和8年 12/2（水）▼ 12/7（月） 10:00～17:00（最終日は 16:00 まで）

- 華 道展
- 美 術工芸展
- 茶 道展
- 写 真展

※華道展のみ活け替えのため 12月4日（金）は 16：00 まで

お茶席

- 12/5（土） 抹茶
- 12/6（日） ハーブティー

お茶券 500円

問合せ先 青葉区役所地域振興課　文化・コミュニティ係
TEL：045-978-2295　FAX：045-978-2413

主　催 青葉ふるさと協議会（青葉区民芸術祭運営委員会）

共　催 青葉区役所、横浜市民ギャラリーあざみ野（公益財団法人横浜芸術文化振興財団）

青葉区 web ページ

令和８年度
青葉区民芸術祭

青葉区最大級の芸能の祭典

第30回

芸能祭

《響きあう文化・輝きあう未来》

青葉に響く芸の祭典。
和と洋、世代を超えて。
そして、新たな共演へ。

入場無料

令和８年
12/12(土)・13(日)

会場 青葉公会堂

東急田園都市線「市が尾駅」下車 徒歩 10分

開演 10:15〔開場 10:00〕

会場案内図



主催 青葉区民芸術祭運営委員会
共催 青葉区役所
問合せ 青葉区民芸術祭運営委員会 事務局
（青葉区役所地域振興課内）
Tel.045-978-2295

芸能祭HP

12月12日（土） 10:00 開場・10:15 開演

第1部 －和部門－ 10:15～

詩吟	青葉吟詠会
詩吟	日本美風流吟詠会総本部
詩吟	横浜岳風会耀葉吟詠会
和太鼓	山連会（荏田西小学校特設和太鼓クラブ）

和洋コラボレーションステージ

詩吟（青葉吟詠会） × ハワイアンフラ（フラフイ ホ'オ' ハウオリ）

第1部 出演団体 紹介タイム

第2部 －和部門－ 11:35～

よさこい	横浜百姫隊
和太鼓	鼓鳥風月
詩吟	日本美風流もえぎ野吟詠会
剣舞・詩舞	吟剣詩舞 剣神会
和太鼓	和太鼓どんどこどん

和洋コラボレーションステージ

和太鼓（和太鼓どんどこどん） × ダンス（Arctep Dance Studio）

第2部 出演団体 紹介タイム

第3部 －洋部門－ 13:10～

韓国舞踊	ドラムダンス倶楽部
ダンス	YOKOHAMA でダンス
ハワイアンフラ	Hula Laulima
ハワイアンフラ	naheleuliulihou
ダンス	Arctep Dance Studio

和洋コラボレーションステージ

和太鼓（鼓鳥風月） × ダンス（YOKOHAMA でダンス） ×
ベリーダンス（舞 Bellydance Studio） × 韓国舞踊（ドラムダンス倶楽部）

第3部 出演団体 紹介タイム

第4部 －洋部門－ 14:45～

ハワイアンフラ	フラフイ ホ'オ' ハウオリ
バトン	川和バトンサークル Luminous Baton Team
ハワイアンフラ	カ・ラー・マラマ フラ スタジオ
ハワイアンフラ	チカコフラスタジオ
スペイン舞踊	ラティドス フラメンコス
ベリーダンス	舞 Bellydance Studio

第4部 出演団体 紹介タイム

※出演時間等、進行状況により多少前後することがありますのでご了承ください。

12月13日（日） 10:00 開場・10:15 開演

第1部 －和部門－ 10:15～

太極拳	太極拳 太極連環扇の会
和太鼓	和太鼓 青富士
民謡	伯美会
民謡	清緑会
詩吟	神風流神耀会
和太鼓	横浜都筑太鼓

和洋コラボレーションステージ

和太鼓（横浜都筑太鼓） × チア（RINGERS）

第1部 出演団体 紹介タイム

第2部 －和部門－ 12:05～

日本舞踊	日本舞踊 松汐翁会
日本舞踊	和香寿会
日本舞踊	輔和香会
民謡	葉玉会
詩吟	吟道精修流青葉吟詠会

和洋コラボレーションステージ

日本舞踊（和香寿会・輔和香会） × ハワイアンフラ（マカナ アロハ フラ）

第2部 出演団体 紹介タイム

第3部 －洋部門－ 13:40～

ダンス	HAPPY SMILE 倶楽部
ハワイアンフラ	マカナ アロハ フラ
ダンス	CCO＋
バレエ	ラ・プリュームバレエスタジオ
ダンス	Venus
ハワイアンフラ	ハーラウフラナープアコア
バレエ	KAI バレエアカデミー

和洋コラボレーションステージ

民謡（葉玉会） × バレエ（Yumi Ballet Studio）

第3部 出演団体 紹介タイム

第4部 －洋部門－ 15:45～

バレエ	アミューバレエスタジオ
ダンス	Dance Factory CYGNET
バレエ	Famille Ballet
バレエ	Yumi Ballet Studio
ダンス	MIAMIRICH
チア	RINGERS
ダンス	Dance Unit YBS

和洋コラボレーションステージ

和太鼓（TSUBO（和太鼓どんどこどん、鼓鳥風月）） × ダンス（Dance Unit YBS）

第4部 出演団体 紹介タイム

令和８年 10 月 20 日

各自治会・町内会長の皆様

青葉区民マラソン運営委員会委員長
青葉区地域振興課長

「第 13 回青葉区民マラソン大会」へのご協力について（掲示依頼）

時下　ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
いよいよ「第 13 回青葉区民マラソン大会」を 11 月 29 日（日）に開催します。

開催に伴う、コース及び周辺道路の交通規制に関するチラシと大会チラシについて、掲示のお願いです。各自治会町内会におかれましては、チラシ２種を**掲示板へ掲示**していただきますようお願い申し上げます。

なお、交通規制については、広報よこはま青葉区版 11 月号や大会ホームページなどでも周知します。

ご協力をよろしくお願いいたします。

１　掲示資料
「第 13 回青葉区民マラソン大会」交通規制チラシ（Ａ４片面）
※１つの掲示板につき、１枚ずつ配布いたします。

２　掲示期間
11 月 29 日（日）まで
※恐れ入りますが、期限を過ぎましたら、廃棄をお願いいたします。

【問合せ】
青葉区地域振興課スポーツ・施設担当
豊倉、今井
電話：978-2294　　FAX：978-2413

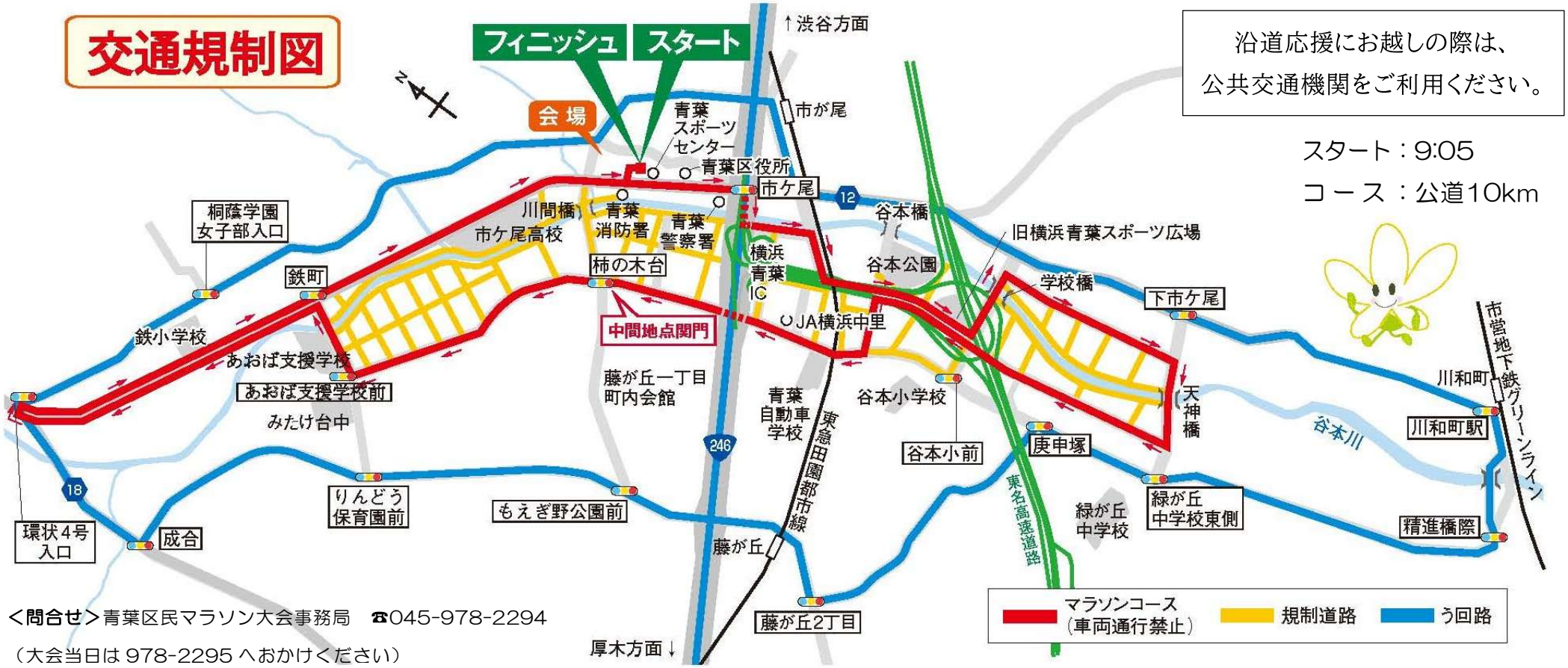
第13回青葉区民マラソン大会開催に伴う

交通規制のお知らせ

令和8年11月29日(日)午前8時30分 ～ 11時頃

横浜上麻生道路(市ケ尾交差点～環状４号入口交差点)ほか

上記の時間帯は、ﾏﾗｿﾝｺｰｽ及び規制道路の通行をご遠慮いただき、う回路のご利用をお願いします。



<問合せ>青葉区民マラソン大会事務局　☎045-978-2294

(大会当日は978-2295へおかけください)

令和８年 10 月 20 日

各自治会・町内会長の皆様

iTSCOM
人と、街と、世界と、つながる。イッツコム

「第１３回青葉区民マラソン大会 生中継」

放送告知へのご協力について（掲示依頼）

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
「第 13 回青葉区民マラソン大会」が 11 月 29 日（日）に開催されるにあたり、ケーブルテレビの「イッツ・コミュニケーションズ」にて、大会当日の模様を生中継することとなりました。つきましては、放送についてみなさまにお知らせしたく、各自治会町内会におかれましては、チラシを**掲示板へ掲示**していただきますようお願い申し上げます。

なお、広報よこはま青葉区版 11 月号やイッツコムホームページなどでも周知します。

ご協力をよろしくお願いいたします。

１　掲示資料
「第１３回青葉区民マラソン大会」生中継チラシ（Ａ４片面）

２　掲示期間
11 月 29 日（日）まで
※恐れ入りますが、期限を過ぎましたら、廃棄をお願いいたします。

【問合せ】
イッツ・コミュニケーションズ株式会社
メディアコンテンツ部
電話：0120 - 109 - 199
（受付時間：9：30～18：00）



第13回 青葉区民マラソン大会

イッツコムチャンネルで

生中継！

2026 11.29（日）9:00~10:30

イッツコムチャンネル11 地デジ 11ch

再放送 同日 18:00~19:30

《イッツコム公式 YouTube でも後日配信！》

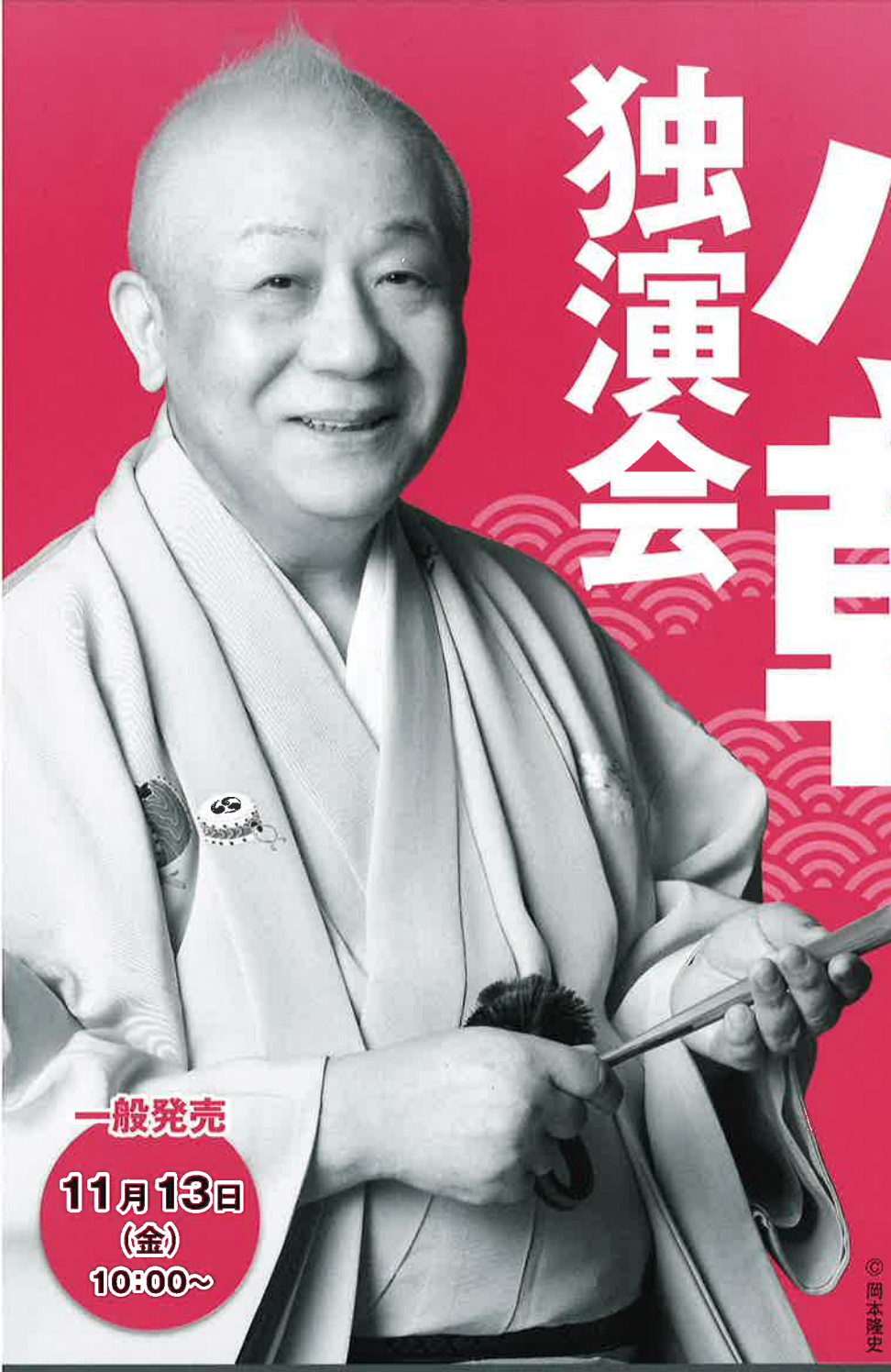
イッツコムチャンネル 検索

提供

東急沿線の仲介（東急株式会社） | 青葉区スポーツ協会 | 青葉令和会
東急バス株式会社 | 青葉自動車学校 | 横浜農業協同組合 中里支店
昭和調剤薬局 | 工藤建設株式会社（順不同）

iTSCOM
人と、街と、世界と、つながる。

春風亭小朝 独演会



© 岡本隆史

横浜市 青葉公会堂 講堂

令和9年 2月6日(土)

開演14:00(開場13:30)
全席指定 3,800円(税込)

一般発売
11月13日(金) 10:00~

チケットのお求めは

横浜市青葉公会堂☎045-978-2400
窓口販売のみ受付(9:00~21:00 ※受付初日は10:00~)
休館日 11/16(月)・12/5(土)・12/21(月)・12/29(火)~1/3(日)・1/18(月)

チケットぴあ(Pコード 545-454) https://t.pia.jp
24時間受付、11/13(金)販売初日は10:00~

セブン-イレブン直接購入
24時間受付、11/13(金)販売初日は10:00~ Pコード545-454必要、チケットぴあ予約後の引き取りもできます。

ローソンチケット(Lコード 34867) https://l-tike.com
ローソン内Loppi直接購入・web購入は24時間受付、11/13(金)販売初日は10:00~

イープラス https://eplus.jp(PC・携帯共通)
24時間受付、11/13(金)販売初日は10:00~

ファミリーマート直接購入 24時間受付、11/13(金)販売初日は10:00~

※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※車椅子席をご希望の方は青葉公会堂までお問合せください。
※チケットご購入後の交換・返金は致しかねます。あらかじめご了承ください。

主催:横浜市青葉公会堂／春々堂



駐車場は有料です。
また、駐車台数には限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

お問合せ
横浜市青葉公会堂 ☎045-978-2400
春々堂 ☎03-5447-2131

区連会 10 月定例会説明資料
令和 8 年 10 月 20 日
みどり環境局
戦略企画課
総務局税務課

横浜みどりアップ計画[2024-2028]2年目の実績報告について【情報提供】

1　報告の趣旨

横浜みどりアップ計画につきましては、2009 年度から、横浜みどり税を財源の一部として活用させていただきながら、緑の保全・創出に向けた様々な事業・取組を推進しています。

2024 年４月からは４期目となる新たな５か年計画[2024-2028]に取り組んでいます。

このたび、２年目の 2025 年度を振り返り、取組の成果をまとめた実績報告書を作成しましたのでご報告いたします。

2　お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3　配布資料

（１）　横浜みどりアップ計画[2024-2028]概要版冊子
（２）　２年目（2025 年度）の実績概要
（３）　２年目（2025 年度）の区別実績
（４）　「横浜みどり税」の説明チラシ
（５）　横浜みどりアップ計画の制度ガイド

【問合せ】
横浜みどりアップ計画の広報に関すること
みどり環境局戦略企画課　TEL：671-2712　FAX：550-4093

横浜みどり税に関すること
総務局税務課　TEL：671-2253　FAX：641-2775

横浜
みどりアップ計画













横浜みどりアップ計画［2024-2028］（概要版）

横浜みどりアップ計画

暮らしのなかに
ふと気づけば緑があるということ

毎日の生活を豊かに、そして未来を担う子どもたちに、
横浜の豊かな緑をつなげていくため
市民の皆様とともに「横浜みどりアップ計画」を進めていきます。



美しく潤いのある
景観



暑さを和らげる



環境教育・農体験

横浜
みどりアップ計画

「横浜みどりアップ計画」は、
「横浜市水と緑の基本計画」の重点的な取組として
策定された5か年計画です。
緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を
次世代に継承するため、
「横浜みどり税」を財源の一部に
活用し取組を推進しています。



健康づくり・
レクリエーション



多様な生き物の
すみか



防災・減災

暮らしを支え、豊かにする緑

緑は、都市環境を形成する主要な要素です。
暮らしに潤いを与えるだけでなく、防災・減災に資する機能をはじめとした
グリーンインフラとしての多様な機能を有しています。
そして、これらの機能が発揮されることで、地球温暖化対策や
SDGsの達成に寄与し、ネイチャーポジティブ※の実現にもつながっていきます。

防災・減災




雨を蓄えて浸水被害を抑えるほか、
オープンスペースとして避難場所や
火災延焼防止機能などの
防災・減災につながっています。

健康づくり・レクリエーション




散策をはじめ、市民の身近な遊び場、
憩いの場、健康づくりの場
となっています。

環境教育・農体験




自然とふれあう環境が身近にあることで、
暮らしを取り巻く環境に対する興味や
関心を持つきっかけとなっています。

暑さを和らげる




木陰の涼しさや、まとまった緑地が
日中の気温上昇を抑えるなど、
暑さを和らげる効果があります。

美しく潤いのある景観




快適で美しく潤いのある景観や、
自然と歴史に基づく個性と
風格のある景観をつくっています。

多様な生き物のすみか




樹林地や農地などが、健全に保たれ、
まとまりやつながりを持つことで、
多様な生き物のすみかとなっています。

地産地消

街の魅力向上・賑わいの創出

コミュニティ形成

文化

※ネイチャーポジティブ：「生物多様性の損失を食い止め、反転させ、回復軌道に乗せる」ことを意味し、2022年の国連生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）で設定された新たな国際目標において、その方向性が明確に示されている。

緑とともにある横浜の暮らし

横浜の中心市街地から少し郊外へ行くと、多様な生き物が暮らす豊かな森や、水田・畑地が広がる美しい農景観が保全され、緑が街を包みこんでいます。街なかに目を向けると、樹々や花が美しく彩られ、潤いと賑わい、街並みに風格をもたらしています。横浜には、市民・企業の皆様とともにまもり、つくり、育んできたかけがえのない緑が暮らしの身近な場所にあります。



横浜みどりアップ計画［2024-2028］の方向性

多様なコミュニティの形成や市民活動の支援の拡充

全市域に広がっている緑や花に関する活動への支援を充実させ、さらに展開させることで、活発な市民活動が行われている姿を目指します。

地域で取り組む緑化活動





森を支える森づくりボランティア



市民が緑に関わる取組のさらなる展開

市民が緑にふれ、感じることができるよう、魅力的な空間づくりや体験イベントの開催をはじめ、これまで確保してきた緑のストックの一層の活用を進めます。

緑花による魅力ある空間づくり



農体験



地産地消にふれる機会



身近な緑の着実な確保と維持管理による質の向上

引き続き身近な緑の場を保全・創出して良好な育成を進めることで、都市環境を形成する主要な要素である緑のもつ多様な機能を効果的に発揮させていきます。

まちなかでの緑の創出・育成

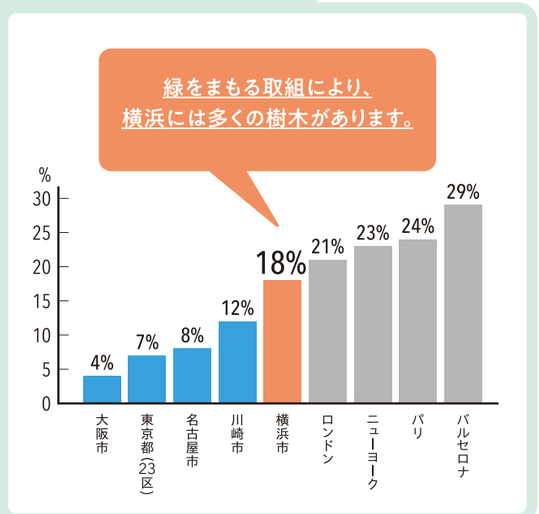


森の保全と 良好な育成



取組の意義や成果、緑がもたらす効果をわかりやすく伝え、取組の共感と、緑のある暮らしの実感につながる広報を展開。

［都市別］
樹木エリアの割合比率



Googleの温室効果ガス排出量推計ツール
(EIE：Environmental Insights Explorer)より
https://insights.sustainability.google/



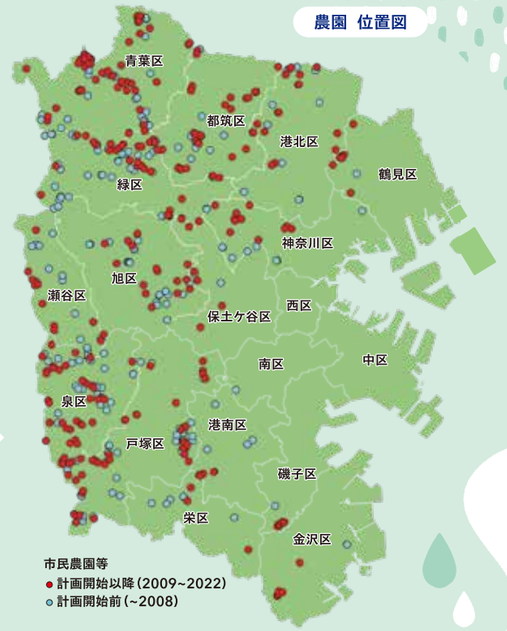
農に親しむ

–横浜の農園で収穫体験–

ココに横浜※みどり税

実は農業も盛んで、農地面積は県内ナンバー1。暮らしに身近な「農」が横浜の魅力です。市内には、野菜や果物の収穫を気軽に体験できる農園から、本格的な農作業ができる農園まで、多くの農園があります。農体験に参加したり、横浜で採れた旬の野菜や果物などを味わったり、横浜ならではの農の魅力を感じてみませんか。

※収穫体験農園開設支援・農園付公園の整備









みどりアップ計画による体験・イベントスポットはこちら!









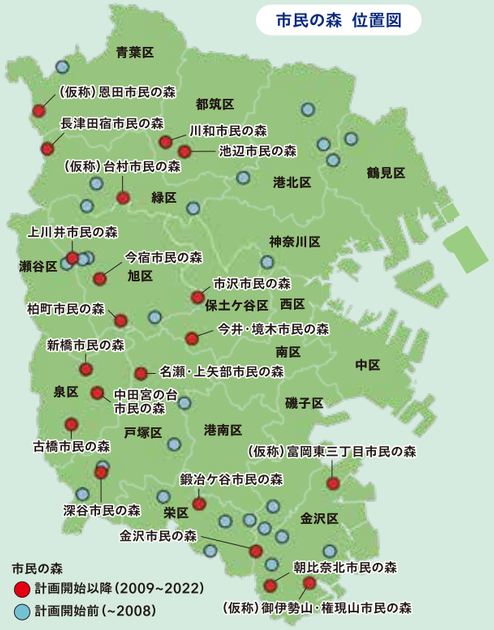
森を愉しむ

–市民の森を散策–

ココに横浜※みどり税

市内には、散策が楽しめる市民の森が43か所あります。また、市内5か所には「ウェルカムセンター」があり、子どもから大人まで幅広い方々が、横浜の森を知って親しみ、楽しむことができるよう、情報の発信やイベントの開催をしています。横浜の森で自然を感じてみませんか。

※市民の森の整備・維持管理











街なかで緑や花を感じる

–季節を感じる街歩き–

ココに横浜※みどり税

街を歩けば、地域で育まれた緑や花を感じることができます。横浜では、多くの市民力により、地域ならではの緑や花の空間が彩られています。地域で取り組む緑化活動は、人と人とのつながりを生むことも。緑や花に季節を感じながら、街歩きを楽しんでみませんか。

※地域緑のまちづくり事業

地域緑のまちづくり 実施地区

（地域主体となった緑化活動）



● 地域緑のまちづくり協定締結地区

（2022年度末時点）

横浜みどりアップ計画［2024-2028］の体系・5か年事業費

計画の理念

みんなで育む
みどり豊かな美しい街
横浜

5か年の目標

1 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します

2 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます

3 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む　事業費 303億円（86億円）

施策1 まとまりのある樹林地の保全・活用	事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	252億円（37億円）
	事業② 良好な森の育成	46億円（46億円）
	事業③ 森に関わる多様な機会の創出	5億円（3億円）

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる　事業費 34億円（10億円）

施策1 農に親しむ取組の推進	事業① 良好な農景観の保全	11億円（4億円）
	事業② 農とふれあう場づくり	20億円（7億円）
施策2 「横浜農場」の展開による地産地消の推進	事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進	2億円（–）
	事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開	0.7億円（–）

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる　事業費 77億円（46億円）

施策1 市民が実感できる緑や花の創出・育成	事業① まちなかでの緑の創出・育成	33億円（26億円）
施策2 ガーデンシティ横浜の更なる推進	事業② 緑や花があふれる地域づくり	12億円（6億円）
	事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成	4億円（0.8億円）
	事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成	27億円（14億円）

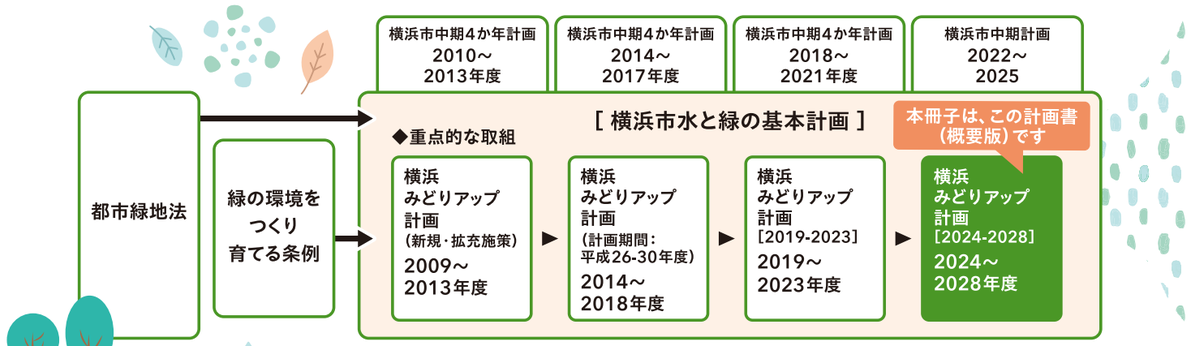
効果的な広報の展開　事業費 0.8億円（–）

事業① 市民の理解を広げる広報の展開	0.8億円（–）

総事業費 415億円（142億円）

※事業費の（　）はうちみどり税を記載しています。端数調整により合計値が整合しない場合があります。

計画の位置付け



横浜みどりアップ計画[2024-2028]を進めるにあたって

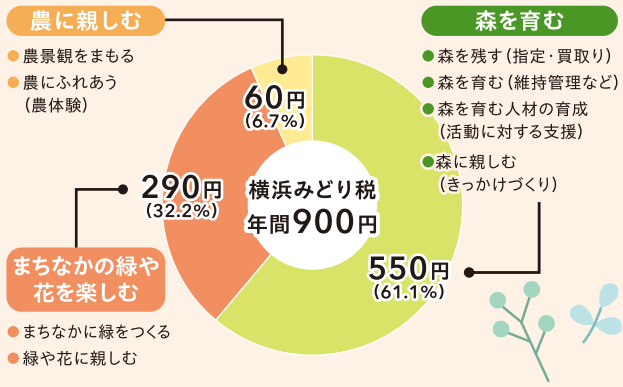
計画を進めるための財源について

横浜市では、緑の保全・創出に取り組むために必要な安定的な財源を確保するため、2009（H21）年度から市民の皆様にご負担いただいている「横浜みどり税」について、引き続き2024（R6）年度から2028（R10）年度までのご負担をお願いし、この計画の重要な財源の一部として活用していきます。

対象	税率
個人	市民税の均等割に年間900円上乗せ※
法人	市民税の年間均等割額の9%相当額

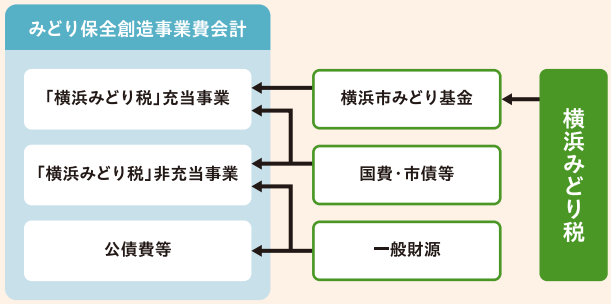
※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除きます。

横浜みどり税（年間900円）の使いみち



横浜みどり基金と特別会計（みどり保全創造事業費会計）

横浜みどり税は、市民税の超過課税の形でご負担をお願いするものですが、その税収の使途は横浜みどりアップ計画に限定されます。そこで、この税収を管理する基金を設置することにより、他の一般財源から明確に分離するとともに、年度間の財源調整も行います。
また、横浜みどり税の使途を明確にするためには、横浜みどり税を充当して実施する事業のみならず、横浜みどりアップ計画全体について、その内容や進捗状況を他の施策と分離して明らかにしていく必要があります。そこで、横浜みどり税非充当事業（既存事業費等）を含めた横浜みどりアップ計画全体を対象とする特別会計により、横浜みどり税の使途を明確にします。



横浜みどりアップ計画市民推進会議

「横浜みどりアップ計画」の推進に向け、市民参加の組織により、みどりアップ計画の評価及び意見・提案、市民の方への情報提供等を行うことを目的として、公募市民や学識経験者などからなる「横浜みどりアップ計画市民推進会議」が2009（H21）年に設置され、2012（H24）年からは横浜市附属機関設置条例に基づく附属機関に位置付けられています。
市民推進会議では、みどりアップ計画の取組の検証や現地調査を行い、評価・提案を報告書にまとめています。


全体会議


現地調査

市民推進会議についてはこちら

お問合せ先 「横浜みどりアップ計画」について：みどり環境局戦略企画課　TEL：045-671-4214　FAX：045-550-4093　mk-mimiplan@city.yokohama.lg.jp
「横浜みどり税」について：総務局税務課　TEL：045-671-2229　FAX：045-641-2775　so-zeimu@city.yokohama.lg.jp

横浜みどりアップ計画[2024-2028]〈冊子〉は、次の場所で閲覧できます。

●各区役所の広報相談係　●市民情報センター（市庁舎3階）　●みどり環境局ウェブサイト

横浜みどりアップ計画[2024-2028]概要版　令和6年6月発行
編集・発行：みどり環境局戦略企画課

みどりアップ計画[2024-2028]はこちら

2025年度の実績概要と今後の展望

横浜市では、緑の保全・創出を進め、横浜の緑を次世代に引き継ぐため、2009年度から「横浜みどりアップ計画」に取り組んでいます。2024年度からは、第4期となる「横浜みどりアップ計画［2024－2028］」に基づき、市民の皆様とともに、森や農、緑や花を身近に感じられるまちづくりを進めています。

柱 1　市民とともに次世代につなぐ森を育む （2-8～2-23）

市内の樹林地を保全するため、緑地保全制度による40.7haの樹林地の新規指定や、17.8haの買取り対応を進めたほか、市民の森を2か所開園しました。引き続き、樹林地の指定・買取り・整備を着実に進めるとともに、多様な主体との連携により、森づくりの担い手育成と、市民が森に関わる機会の充実を図ります。

柱 2　市民が身近に農を感じる場をつくる （2-24～2-47）

市内の水田112.3haを維持し、良好な農景観を保全するための支援をしました。また、収穫体験農園や横浜ふるさと村、恵みの里での農体験、直売所等の開設、はまふぅどコンシェルジュの活動などを支援し、農とのふれあいや地産地消を推進しました。引き続き、農景観の保全と身近に農とふれあえる場づくりを進め、市民・企業等との連携も深めていきます。

柱 3　市民が実感できる緑や花をつくる （2-48～2-69）

横浜開港資料館など3か所の緑地を再整備したほか、桜並木等の再生、地域の緑化活動への支援、保育園や幼稚園、小中学校など子どもたちが過ごす施設40か所において緑を創出するとともに、都心臨海部や新横浜駅周辺の14か所で緑や花による良好な空間づくりを進めました。今後も、市民・事業者との協働や継続的な維持管理により、身近な緑や花を育んでいきます。

広報　効果的な広報の展開 （2-70～2-72）

広報紙、デジタルサイネージ、交通広告、イベント出展、こども向けリーフレット等を活用し、「横浜みどりアップ計画」と「横浜みどり税」について幅広い世代への情報発信に取り組みました。今後も緑の取組に関する市民アンケート等を事業改善に生かし、分かりやすく伝わる広報を通じて、計画への理解と共感につなげていきます。

今後の展望

引き続き、各柱の取組を着実に進めることで、市民生活を支え、潤いをもたらす貴重なみどりを次世代に継承していくとともに、保全したみどりを安全で良好に育み、市民の皆様がその魅力や大切さを身近に実感できる取組を一層強化していきます。あわせて、横浜グリーンエクスポを通じて生まれる気づきや行動、人や地域のつながりを、開催後の地域活動や次世代の担い手づくりへ展開し、人と自然が共生する持続可能な都市・横浜の実現につなげていきます。

柱1



長津田町長月特別緑地保全地区（緑区）



上菅田町市民の森（保土ケ谷区）

柱2



上飯田町（泉区）



舞岡ふるさと村（戸塚区）

柱3



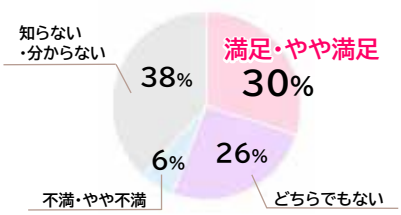
横浜開港資料館（中区）



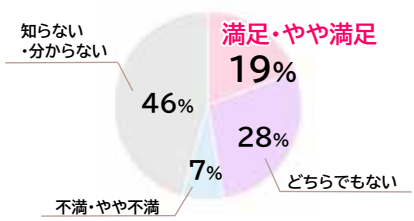
中屋敷保育園（瀬谷区）

市民アンケート※の評価　※2025年度実施　横浜市の緑の取組に関するアンケート調査

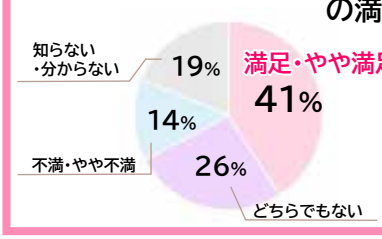
まとまりのある森の保全の満足度



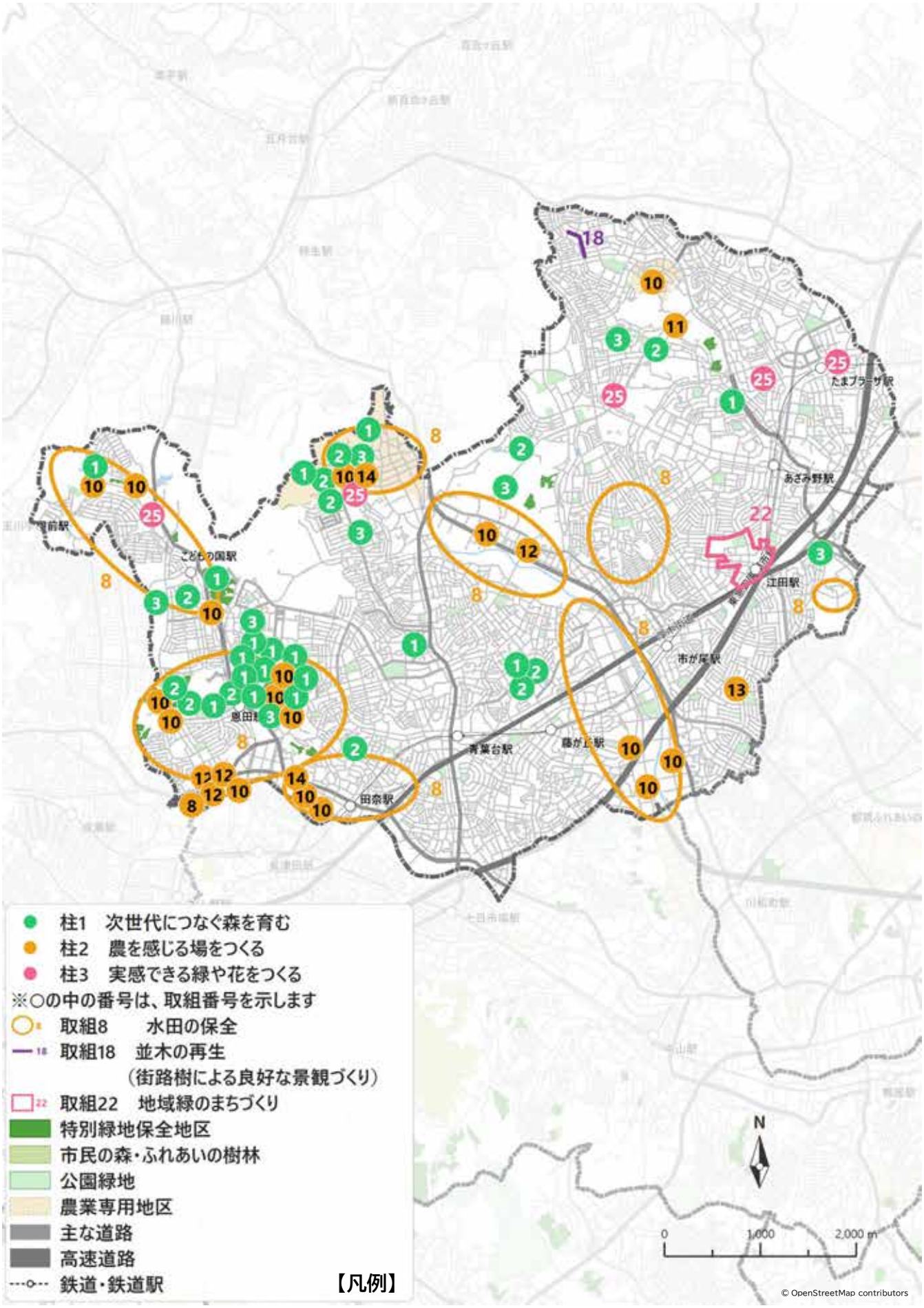
良好な農景観の保全の満足度



街なかなど身近な場所での緑化の満足度



青葉区における実績


柱1 次世代につなぐ森を育む
柱2 農を感じる場をつくる
柱3 実感できる緑や花をつくる
※○の中の番号は、取組番号を示します
取組8 水田の保全
取組18 並木の再生
（街路樹による良好な景観づくり）
取組22 地域緑のまちづくり
特別緑地保全地区
市民の森・ふれあいの樹林
公園緑地
農業専用地区
主な道路
高速道路
鉄道・鉄道駅
【凡例】
こどもの国駅
恩田駅
青葉台駅
藤が丘駅
田奈駅
市が尾駅
江田駅
あざみ野駅
たまプラーザ駅
N
0
1,000
2,000 m
© OpenStreetMap contributors

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

市による買取り 寺家特別緑地保全地区



取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

森の維持管理 もえぎ野ふれあいの樹林



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

田奈恵みの里での体験水田



取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

農のコーディネーター派遣 荏田西小学校



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

地域の花いっぱいにつながる取組
花壇づくり講習会 市ケ尾町公園



取組24 人生記念樹の配布

ハマッ子直売所横浜青葉インター店



柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

特別緑地保全地区 1.80ha

あざみ野四丁目特別緑地保全地区／寺家町居谷戸特別緑地保全地区

源流の森保存地区 1.36ha

恩田町（7か所）

・市による買取り

特別緑地保全地区 1.24ha

恩田東部特別緑地保全地区（2か所）／寺家特別緑地保全地区

・保全した樹林地の整備

5か所 恩田東部特別緑地保全地区／桜台特別緑地保全地区／奈良町西ノ谷特別緑地保全地区／奈良町宮ノ谷特別緑地保全地区／もえぎ野ふれあいの樹林

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 8か所

恩田町特別緑地保全地区／鉄町冨士塚台特別緑地保全地区／寺家町居谷戸特別緑地保全地区／（仮称）恩田市民の森／寺家ふるさとの森／もえぎ野ふれあいの樹林／榎が丘緑地／恩田町九郎治緑地

公園 4か所

荏子田公園／鴨志田公園／奈良山公園／もえぎ野公園

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

11か所 荏子田二丁目／荏田町／恩田町（2か所）／鴨志田町／鉄町／寺家町（3か所）／すみよし台／奈良四丁目

●取組5 森づくり活動団体への支援

・森づくり活動団体への支援

樹林地 2団体

●取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

4回 クラフト教室等（4回）

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

●取組8 水田の保全

・水田保全面積

39.3ha 市ケ尾町／荏田町／大場町／恩田町／上谷本町／鉄町／寺家町／下谷本町／田奈町／奈良町

・水源・水路の整備

1件 田奈地区水利・耕作組合連絡協議会（上和田堰水利組合）

●取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

集団農地維持活動団体 16件

恩田水利組合／鍛冶谷戸耕作組合／上和田堰水利組合／鉄大場市ヶ尾水利組合／じじ池水利組合／下市ヶ尾水利組合／寺家ふるさと村体験農業振興組合／杉山耕作組合／苗万坂水利組合／仲居水利組合／奈良堰下水利組合／奈良土橋水利組合／白山谷戸水利組合／番匠谷かんがい組合／保木農用地利用改善組合／宮前水利組合

農地縁辺部への植栽 1件

田奈恵みの里推進委員会

・周辺環境に配慮した活動への支援

緑肥作物等による環境対策 0.17ha

下谷本町

●取組11 多様な主体による農地の利用促進

・遊休農地の復元支援

0.16ha 元石川町

●取組12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

・様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

収穫体験農園 0.27ha

恩田町（3件）／鉄町

●取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

・市民が農を楽しみ支援する取組の推進

横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施 27回

寺家ふるさと村での体験（8回 みそ造り教室、そば打ち教室）／田奈恵みの里での体験（19回 体験水田、よもぎ団子教室、親子料理教室など）※田奈恵みの里での実績は、緑区にも記載しています

コーディネーター派遣 1件

荏田西小学校

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

直売所・加工所 1件

田奈町

青空市・マルシェ等 1件

寺家ふるさと村四季の家管理運営委員会

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 1,431本

市道黒須田133号線・市道寺家7号線／奈良西八朔線

並木の再生 1路線

美しが丘西二丁目桜通り※整備中・サクラ（ベニユタカ）

●取組22 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくり

協定締結終了地区の支援 1地区

江田駅周辺地区（1年目）

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

「緑あふれる青葉区」魅力発信事業／花壇講習会

身近な公共施設での緑の創出 2か所

青葉消防署奈良消防出張所／青葉消防署すすき野消防出張所

身近な公共施設での緑の育成 1か所

青葉消防署

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布（青葉台公園など95か所）／花苗の配布（青葉台公園など47か所）／堆肥の配布（青葉台公園など87か所）

公園愛護会花壇づくり講習会の実施（1か所 市ケ尾町公園）

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

1,336本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の創出 2か所

荏子田小学校／山内中学校

緑の育成 3か所

美しが丘保育園／奈良保育園／鴨志田中学校

よこはまの緑を
未来を担う
子どもたちのために

暮らしを支え、豊かにする緑を未来に残すために、
横浜市は、市民・事業者の皆様に「横浜みどり税」をご負担いただき、
緑をまもり、つくり、育む「横浜みどりアップ計画」を進めています。



横浜みどり税について

横浜みどり税の税額

個人市民税均等割に年間 **900円** を上乗せ

※法人の場合は、年間均等割額の9%相当額を上乗せ

※課税年度は、令和10年度までです。

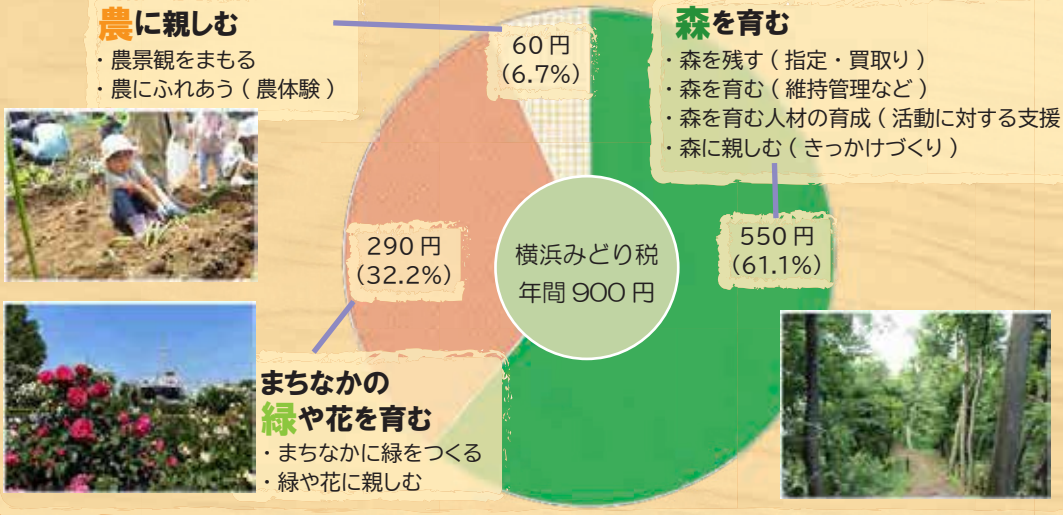


横浜みどり税の使途

「横浜みどりアップ計画」のうち、下記の横浜みどり税の使途に該当する事業へ横浜みどり税を充当します。

- 樹林地・農地の確実な担保
- 身近な緑化の推進
- 維持管理の充実による みどりの質の向上
- ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

横浜みどり税（年間900円）の使いみち



横浜みどりアップ計画［2024−2028］

計画の理念　みんなで育む　みどり豊かな美しい街　横浜

５か年の目標

・緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
・地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
・市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

みどり税を活用した取組

市民とともに次世代につなぐ森を育む

５か年の主な取組

- 樹林地の新規指定と買入れ申し出への対応
- 指定樹林地への維持管理支援
- 森に親しむきっかけづくり

市民が身近に農を感じる場をつくる

５か年の主な取組

- 水田保全への支援
- 農園の開設など、農とふれあう機会の全市的な展開

市民が実感できる緑や花をつくる

５か年の主な取組

- まちなかでの緑の創出や街路樹等による景観づくり
- 地域での緑や花の取組支援
- 子どもを育む空間での緑の創出・育成

市民・事業者の皆様に取組の意義や成果、緑がもたらす効果をわかりやすく伝えることで、取組への共感と、緑のある暮らしの実感につながる**広報**を展開

森林環境税（国税）と横浜みどり税



Q　国の森林環境税と横浜みどり税はどう違うの？

A　目的と使いみちが異なります。

森林環境税は、林業が成り立たない地方の山間部の森林整備や、国産木材の利用促進を主な目的として創設されました。横浜市では、木材利用の促進を図るため、学校施設や公園などの市民利用施設の木材利用工事に活用しています。

横浜みどり税は、市内の緑の保全・創造を目的としたものであり、樹林地の買い取りや、まちなかでの緑の創出などに活用しています。森林環境税と横浜みどり税は、趣旨と使いみちが異なります。

●森林環境税（国税）・森林環境譲与税について

趣旨（目的）	わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための地方財源を安定的に確保するため
課税手法・税率	年間 1,000 円を個人住民税と併せて賦課徴収
課税期間	令和６年度から
市町村への譲与	国が令和元年度から一定の基準で 譲与 （令和5年度までは、 地方公共団体金融機関の準備金を活用）
使いみち	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用

※このほか、神奈川県では、水源環境保全・再生のために、個人県民税に対する超過課税を実施しています。

【お問い合わせ】

●「横浜みどり税」について
▶区役所税務課　または　総務局税務課　電話：045-671-2253　FAX：045-641-2775

●「横浜みどりアップ計画[2024−2028]」について
▶みどり環境局戦略企画課　電話：045-671-4214　FAX：045-550-4093

令和８年４月　横浜市総務局税務課

横浜みどりアップ計画

地域・個人で利用できる！横浜みどりアップ計画の制度ガイド

～ 街の緑が、暮らしを豊かにする ～

横浜みどりアップ計画には、**地域や個人の方が利用できる制度**もあります。
「こんなことがしたい」から探せるようにまとめています。

地域・団体で取り組む　個人・ご家庭で使える　参加・受講する

地域・団体で取り組む

①

地域で花植えや植樹に取り組みたい
制度名：地域緑のまちづくり

【お問合せ先】
環境活動事業課（緑化担当）
045-671-3447

【できること】住宅地・商店街などで、地域にふさわしい緑を増やす取組を支援します。
【支援内容】最大3年間 1,500万円まで （整備費90%以内 ほか）
【対象】地域が主体となって緑化計画を提案する団体（選考あり）

②

森づくりの活動を充実させたい
制度名：森づくり活動団体への支援

【お問合せ先】
環境活動事業課（森づくり担当）
045-671-2624

【できること】保全管理計画づくり、研修、道具の貸出し、チップ化作業、アドバイザー派遣などをサポートします。
【支援内容】研修・道具貸出・アドバイザー派遣等の各種サポート
【対象】市民の森・都市公園内などの樹林地で活動する団体

個人・ご家庭で使える

③

家族の思い出になる木を育てたい
制度名：人生記念樹の配布

【お問合せ先】
環境活動事業課（緑化担当）
045-671-3447

【できること】出生・結婚などの記念に、市内で生産された記念の苗木をお渡しします。
【支援内容】記念の苗木を配布（年2回・6月頃と10月頃／市内各所で配布）
【対象】記念を迎える横浜市民（郵送・インターネットで申込）

④

歴史ある樹木を次世代に残したい
制度名：名木古木の保存

【お問合せ先】
環境活動事業課（緑化担当）
045-671-3447

【できること】町の象徴として親しまれてきた由緒ある樹木を「名木古木」に指定し、保存を支援します。
【支援内容】診断50%（上限4万円）・治療50%（上限30万円）・管理50%（上限20万円）
【対象】由緒ある樹木の所有者（指定には審査あり）

⑤

所有している森の管理への支援を受けたい
制度名：樹林地維持管理助成

【お問合せ先】
環境活動事業課（森づくり担当）
045-671-2624

【できること】緑地保全制度に指定された民有樹林地の、越境樹木や危険樹木などの管理作業を助成します。
【支援内容】A:樹木管理・草地管理の作業は50万円まで100%（超過分50%）
B:フェンス・土留め設置50%
（AB合わせて上限200万円）
【対象】緑地保全制度に指定されている民有樹林地の所有者

参加・受講する

⑥

森づくり活動に参加したい
制度名：森づくりボランティア

【お問合せ先】
環境活動事業課（森づくり担当）
045-671-2624

【できること】入門講座や体験会などに参加でき、横浜の森づくり活動に加わることができます。
【支援内容】各種研修の受講・体験会への参加・情報発信
【対象】18歳以上で市内在住・在学・在勤の個人または市内事業者

⑦

農作業や緑の手入れを基礎から学びボランティアとして活動したい
制度名：市民農業大学講座

【お問合せ先】
環境活動支援センター
045-711-0635

【できること】野菜・果樹・花き・樹木の栽培管理を実習中心で学び、修了後は「農と緑の環境リーダー」として援農や緑化ボランティアで活躍できます。
【講座内容】2年間の講座（1年次35回＋2年次の農家実習10回）（別途受講料あり）
【対象】市内在住67歳以下で、修了後に援農・緑化ボランティアの意思がある方（定員30人・多数時は選考／年1回・2～3月募集）

⑧

横浜の食と農をつなぎ地産地消を広めたい
制度名：はまふぅどコンシェルジュ講座

【お問合せ先】
農業振興課（地産地消担当）
045-671-2639

【できること】横浜の農業・農産物・生産者・食をテーマに、講義・実習・視察で地産地消の理解を深める連続講座です。修了すると「はまふぅどコンシェルジュ」に認定されます。
【講座内容】全5回の連続講座（講義・バスツアー・農体験・料理教室・グループワーク）（別途受講料あり）
【対象】地産地消の実践・普及に積極的に取り組む意思のある方（定員20名・多数時は選考／年1回・3月募集）



◆制度ガイドに関するお問合せ先
みどり環境局戦略企画課
電話 045-671-2712 ／ FAX 045-550-4093
Eメール mk-midorikoho@city.yokohama.lg.jp

◆各事業お問合せ先

市連会 10 月定例会説明資料
令 和 8 年 10 月 13 日
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
GREEN × EXPO 推進課

横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会の開催及び「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」参加者募集への協力について【情報提供】

1　趣旨

「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催し、横浜市出展「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」の名称や、市主催催事「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」などの概要を発表しました。また、「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」では、ステージパフォーマンスの参加者を12月28日まで募集しています。

2　お願いしたいこと

【区連長】　ご承知おきください。
【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。
【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3　内容（添付の記者発表資料をご参照ください）

(1)　「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催

横浜市出展の名称を「つなぐ横浜館」及び「つなぐ横浜フィールド」に決定したことを発表したほか、「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」や「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」など、市主催催事の概要を紹介しました。また、市内10の大学・専門学校で活動する「EXPO部」の始動、「横浜ネイチャークエスト」の実施、横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルートの発表、TDMパートナー向けステッカーの配布など、開催に向けた多彩な取組を発表しました。

(2)「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」開催決定　ステージパフォーマンス出演者を募集

横浜グリーンエクスポ会期中、地域で活躍する区民の皆さまが主役となり、「食」と「エンターテインメント」を通じて、横浜18区それぞれの個性や地域の特色を紹介するとともに、地域で育まれてきた文化や伝統、特産品、地域活動など、多彩な魅力を発信いただくイベント「ヨコハマ 18 コレクション」を開催します。

開催にあたり、音楽やダンス、演劇などのステージパフォーマンス参加者を、12月28日まで募集しています。区の特産品や地産地消の飲食物などを扱うブース出展者についても、11月2日から募集を開始する予定です。

多くの皆さまのご応募をお待ちしています。

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課
電話　045-671-4627 /FAX 045-212-1223
メール　da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp

横 浜 市 記 者 発 表 資 料

明日をひらく都市
OPEN×PIONEER
YOKOHAMA

令 和 8 年 9 月 29 日
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
G R E E N × E X P O 推 進 部

「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催

横浜市出展の名称が「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」に決定

横浜市が主催する特別な祭典「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」と「食」と「エンターテインメント」で区民が主役となるイベント「ヨコハマ 18（イチハチ） コレクション」

横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルートも発表

横浜市は、2027 年３月から開催する横浜グリーンエクスポ（GREEN×EXPO 2027）の開催半年前を迎え、「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催しました。

発表会では、横浜市出展の名称を「つなぐ横浜館」及び「つなぐ横浜フィールド」に決定したことを発表したほか、「横浜と未来をつなぐ７日間」をテーマに展開する「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」や、横浜 18 区民が主役となって各区の魅力を発信するイベント「ヨコハマ 18 コレクション」など、市主催催事の概要を紹介しました。

また、市内 10 の大学・専門学校で活動する「EXPO 部」の始動、「横浜ネイチャークエスト」の実施、横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルート、TDM パートナー向けステッカーの配布など、開催に向けた多彩な取組についても発表しました。

＜横浜市出展＞

■横浜市出展の名称を「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」に決定

「世界の明日（あす）を、みんなでひらく。」をコンセプトとし、「建物空間を活用した発信拠点」と「フィールドを活用した活動拠点」の２か所の出展をお知らせしてきました。

横浜グリーンエクスポのホストシティとして、市民・企業の皆様をはじめ、これまでの各種イベントやワークショップ、ボランティア募集、STYLE100 の取組などを通じて、多くの方々とともに準備を進めています。

これまでに生まれた多様なつながりを横浜グリーンエクスポの場に結集し、さらに開催後の未来へとつないでいきたいという思いを込め、このたび、「建物空間を活用した発信拠点」の名称を「つなぐ横浜館」、「フィールドを活用した活動拠点」の名称を「つなぐ横浜フィールド」に決定し、「つなぐ横浜館」公式 WEB サイトを公開しました。

開幕に向けて、市民・企業の皆様をつなぐ参加型ワークショップの開催等、様々な取組を進めます。

【ロゴデザイン】

つなぐ 横浜館 CIRCULAR LINK YOKOHAMA Hub

つなぐ 横浜フィールド CIRCULAR LINK YOKOHAMA Field

【つなぐ横浜館　公式 WEB サイト URL】
https://yokohama-hub.city.yokohama.lg.jp

裏面あり

＜参考＞「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」の整備状況

「つなぐ横浜館」は、９月８日に GREEN×EXPO 協会より建物の引き渡しが完了しました。今後、内装や外構の工事を進め、開幕に向けて準備を進めていきます。



「つなぐ横浜館」9 月 8 日撮影

「つなぐ横浜フィールド」も、開幕に向け花壇や休憩スポット、園路などフィールド全体の整備を進めています。



「つなぐ横浜フィールド」9 月 8 日撮影

＜横浜市主催催事＞

■横浜と未来をつなぐ7日間「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」

横浜市出展の取組の一つとして、「世界の明日を、みんなでひらく。」というコンセプトを体現する祭典「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」を、横浜グリーンエクスポ会場で開催します。

循環型都市を目指す横浜市が「チャレンジ」をキーワードに展開する、誰もが楽しみながら参加できる特別な祭典です。

パレードや蝶をモチーフとしたバタフライシンボルオブジェ、プロのアーティストによる音楽ライブ、サーキュラーな暮らしを体感できるパークなどを通じて、新しい未来に向けたさまざまな挑戦を発信します。

【ロゴデザイン】

YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK
グリーンチャレンジウィーク

- 開催日程：2027 年５月 26 日(水)～６月１日(火)
- 開催場所：横浜グリーンエクスポ会場全体
- ４つのメイン企画：
  - サーキュラーをテーマに心おどる未来の物語に出会う「パレード」
    世界的なアーティストとコラボレーションしたデザイン、リユース素材を活用した衣装やフロートを用いて会場で大規模なパレードを開催します。
  - エネルギーがめぐるサステナブルな未来のシンボルオブジェ「バタフライ」
    自然の巡りをつなぐ存在である蝶をモチーフにエネルギーがめぐるサステナブルな未来のシンボルオブジェを設置します。会場を象徴するフォトスポットとしてもお楽しみいただけます。
  - 音楽の力でサステナブルな未来への想いをつなぐ「ライブ」
    世代を超えて多くの皆さまに音楽の力を通じてグリーンな未来に向けてのメッセージをお届けします。
  - サーキュラーな未来の暮らしのヒントが見つかる「パーク」
    サステナブルな暮らしを実践する皆さまが集い、さまざまな体験をお届けします。食の展示・販売や体験型のワークショップ、物品の販売など、実際にグリーンな暮らしを実践いただくための機会をご用意します。

次頁あり

【キービジュアル】



■横浜 18 区民が主役のイベント「ヨコハマ 18（イチハチ）コレクション」

【ロゴデザイン】

ヨコハマ 18（イチハチ）コレクション
Yokohama Ichihachi Collection

地域で活躍する区民の皆さまが主役となり、食とエンターテインメントを通じて、各区の文化、食などの魅力や、活動を発信するイベント「ヨコハマ 18 コレクション」を、横浜グリーンエクスポ会場内で開催します。

来場者と参加する区民の皆さまに新たな出会いやつながりが生まれ、「参加したくなる」「行ってみたくなる」イベントを目指します。

また、開催にあたり、横浜の魅力をともに発信・出演していただける個人・団体の皆さまを募集します。

- 開催日程：2027 年 7 月 21 日(水)～7 月 29 日(木)
- 開催場所：横浜グリーンエクスポ会場内 大催事広場（仮称）
- 募集期間：
  - ステージパフォーマンス（ダンスや音楽、伝統芸能など）
    募集期間：2026 年 10 月 1 日(木)～12 月 28 日(月)
  - ブース出展（特産品等の提供・PR、食と地産地消等の魅力発信）
    募集期間：2026 年 11 月 2 日(月)～12 月 28 日(月)　（予定）
- 応募ページ URL：
  https://yokohamagreenexpo-saiji.city.yokohama.lg.jp/18collection/guidelines/

【横浜市主催催事　公式 WEB サイト URL】
https://yokohamagreenexpo-saiji.city.yokohama.lg.jp

裏面あり

＜市民参加の取組＞

■市内 10 の大学・専門学校に「EXPO部」が誕生しました！

横浜グリーンエクスポの開催に向け、大学生等が主体となって、エクスポを盛り上げるコミュニティ「EXPO 部」が横浜市内 10 の大学・専門学校で立ち上がりました。

学園祭におけるエクスポの情報発信やプロギングをはじめとする環境にやさしい活動など、学生ならではの発想による取組を展開し、SNS 等を通じて、大学・専門学校と本市が協力し、市内のキャンパスから学生発のムーブメントを生み出します。

EXPO 部のロゴ(標準例)



各大学の EXPO 部代表メンバーが集合(2026年9月)

■横浜ネイチャークエスト「2027 年、横浜グリーンエクスポ開催！横浜の自然を見つけよう！」

横浜グリーンエクスポに向けた機運醸成を図るとともに、市内の豊かな生物多様性への関心を高めていただくため、いきものコレクションアプリ「Biome (バイオーム)」を活用した参加型企画を実施します。

市民の皆様がスマートフォンを使って、身近な自然やいきものを観察・記録しながら、横浜の豊かな生物多様性を体感していただく企画です。

集まったいきものの情報は、エクスポの会場内イベントで展示する予定です。



- 実施期間： 2026 年 10 月 5 日(月)～2027 年 3 月 31 日(水)
- 対象エリア：横浜市内全域

次頁あり

＜会場への交通アクセス関連＞

■横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルート

横浜グリーンエクスポ会場までの公共交通機関によるアクセスは、会場近傍４駅からのシャトルバスのほか、横浜駅、新横浜駅、羽田空港からの直行バスが運行予定です。

さらに、会場と横浜都心臨海部をダイレクトに結ぶバスも運行を予定しています。こちらは、馬車道、野毛、みなとみらい 21 地区への玄関口である桜木町駅、みなとみらいの主要ホテルや横浜ハンマーヘッド、横浜赤レンガ倉庫、関内・関外エリアの BASEGATE 横浜、さらには元町・中華街エリアのローズホテル横浜、山下公園通りのホテルニューグランドといった臨海部の主要な観光拠点を周遊するルートを予定しています。



横浜都心臨海部からの直行バスの運行予定ルート

■TDM パートナーへのインセンティブ追加（ステッカー配布）

会期中の円滑な交通の実現に向けて、交通需要マネジメント（TDM）の取組にご協力いただける企業・団体の皆さまに、「TDM パートナー」として登録のお願いをしています。ご登録いただいた皆さまには、インセンティブをご用意しており、このたび、新たな特典としてトゥンクトゥンクがデザインされた専用ステッカーを追加しました。



配布ステッカー（イメージ）

裏面あり

＜9月 29 日(火)開催 「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」＞



(左から)トゥンクトゥンク、渡邊(わたなべ) 忠則(ただのり) 横浜市会議長、平原(ひらはら) 敏英(としひで) 横浜市副市長、原田(はらだ) 一之(かずゆき) 横浜商工会議所副会頭、ミャクミャク

横浜市は、「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を、９月 29 日（火）に横浜市中区の THE LIVE で開催し、横浜市出展や横浜市主催イベントに関する最新情報を発表しました。



(左から)トゥンクトゥンク、ミャクミャク

続いて、横浜グリーンエクスポ公式マスコットキャラクターのトゥンクトゥンクに加え、大阪・関西万博公式キャラクターのミャクミャクがスペシャルゲストとして登場。ミャクミャクは、横浜の「Ｙ」と応援を意味する「Ｙｅｌｌ」の頭文字をかけた「Ｙ」ポーズを披露し、横浜グリーンエクスポに向けてエールを送りました。トゥンクトゥンクも一緒に「Ｙ」ポーズを決め、会場を盛り上げました。

また、大阪市長の横山(よこやま) 英幸(ひでゆき)氏からビデオメッセージが寄せられました。大阪・関西万博の経験を踏まえ、早めのチケット購入と早期来場を呼びかけるとともに、「万博のバトンを横浜の皆様へつないでまいりたい」とエールを送りました。さらに、大阪市が大阪府、堺市とともに会場内へブースを出展予定であることにも触れ、「全力で共に歩んでまいります」と、横浜グリーンエクスポの成功に向けた力強いメッセージを寄せました。

加えて、横浜グリーンエクスポをともに盛り上げる横浜市 18 区のマスコットキャラクターを紹介するとともに、トゥンクトゥンクとのコラボレーションポスターを会場内で初公開しました。

<トゥンクトゥンク×横浜市 18 区キャラクターとのコラボレーションポスター　一例>



瀬谷区



旭区



緑区

次頁あり

お問合せ先

（開催半年前メディア発表会・コラボレーションポスターについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　古市　　TEL　045-671-4866
（横浜市出展　発信拠点について）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　幡野　　TEL　045-671-3787
（横浜市出展　市民活動フィールドについて）
みどり環境局戦略企画課担当課長　岩ヶ谷　　TEL　045-671-4423
（YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK、ヨコハマ 18 コレクションについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　西城　　TEL　045-671-3788
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　平原　　TEL　045-671-2033
（EXPO 部について）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　長谷部　　TEL　045-671-2102
（横浜ネイチャークエストについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　安藤　　TEL　045-671-3786
（直行バスについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　山崎　　TEL　045-671-4832
（TDM について）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　原田　　TEL　045-671-3789

明日をひらく都市
OPEN×PIONEER
YOKOHAMA

横 浜 市 記 者 発 表 資 料

令和 8 年 10 月 1 日
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
GREEN×EXPO 推進部

横浜グリーンエクスポで横浜 18 区の魅力を発信
「食」と「エンターテインメント」で区民が主役となるイベント
「ヨコハマ 18（イチハチ） コレクション」開催決定
本日からステージパフォーマンス出演者を募集します

2027 年に開催される「横浜グリーンエクスポ（GREEN×EXPO 2027）」の会期中、市内 18 区の特色や魅力を、区民の皆さまが発信する横浜市主催イベント「ヨコハマ 18（イチハチ） コレクション」を開催します。また、本日 10 月 1 日（木）から、ステージパフォーマンスへの出演者の募集を開始します。

本イベントでは、地域で活躍する区民の皆さまが主役となり、「食」と「エンターテインメント」を通じて、横浜市 18 区それぞれの個性や地域の特色を紹介するとともに、地域で育まれてきた文化や伝統、特産品、地域活動など、多彩な魅力を発信します。

このたび募集するステージパフォーマンスでは、音楽、ダンス、演劇など幅広いジャンルを募集します。なお、区の特産品や地産地消の飲食物などを扱うブース出展者についても、11 月 2 日（月）から募集開始予定です。
多くの皆さまのご応募をお待ちしています。

裏面あり

■募集概要

イベントの開催にあたり、ステージパフォーマンスを通じて横浜の魅力を発信していただける個人・団体の皆さまを募集します。詳細は特設 Web サイトに掲載する募集要項をご確認ください。

１．募集ジャンル

音楽、ダンス、パフォーマンス、演劇　等

※ブース出展については 11 月２日（月）に改めて募集を予定しています。

２．応募資格

- 個人：市内に在住・在勤・在学していること
- 団体：市内に在住・在勤・在学している人が、出演者に含まれていること

３．募集期間

2026 年 10 月１日（木）から 12 月 28 日（月）まで

４．応募方法

- 電子メール・郵送・応募フォームにて受付。
- 詳細な応募手順や申請書類のダウンロードは、特設 Web サイトをご確認ください。

  ※電子メール及び郵送は 10 月１日（木）から受付を開始します。応募フォームについては 11 月上旬に受付開始予定です。

５．問合せ先

ヨコハマ 18 コレクション運営事務局

電話：050-8888-9556（平日 10:00 から 18:00）

メールアドレス：yokohama18@dna-ex.co.jp

■「ヨコハマ 18 コレクション」概要

- **開催時期**：2027 年７月 21 日（水）から７月 29 日（木）まで
- **会場**　　：横浜グリーンエクスポ 会場内（大催事広場（仮称））
- **主催**　　：横浜市
- **主な内容**：
  - **ステージパフォーマンス：**
    ダンスや音楽、伝統芸能などのパフォーマンスを通じて、幅広い世代が楽しめるにぎわいの場を創出し、地域の魅力を発信。
  - **ブース出展**：特産品の提供・PR、食や地産地消等の魅力を発信。

- **特設 Web サイト**：
  https://yokohamagreenexpo-saiji.city.yokohama.lg.jp/18collection/guidelines/

お問合せ先
GREEN×EXPO 推進課担当課長　平原　　TEL：045-671-2033

横浜市　自治会町内会館
脱炭素化推進事業補助金

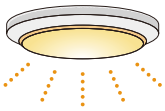
横浜市は 2030 年度までの
温室効果ガス排出量 50%
削減を目指しています

＼令和８年度も／ 自治会町内会館の 脱炭素化を応援します！

補助率 2/3

対象製品 LED照明器具

蛍光灯は令和９年末で製造廃止予定のため、
今後品薄となることが予想されます。
今のうちに LED への交換をご検討ください。



補助上限額
60万円

省エネ性能 ★★★★☆4.0

・統一省エネラベル省エネ性能★４つ以上
・省エネ型製品情報サイト未掲載の場合
　トップランナー基準達成製品

電球形 LED ランプのみの
交換も対象
（トップランナー基準達成製品）

対象製品 エアコン



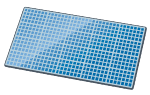
補助上限額
130万円

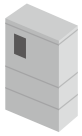
家庭用 省エネ性能 ★★☆☆☆2.4
統一省エネラベル省エネ性能
★2.4 つ以上

業務用 トップランナー基準達成製品

対象製品 断熱窓など


断熱窓


太陽光
発電設備

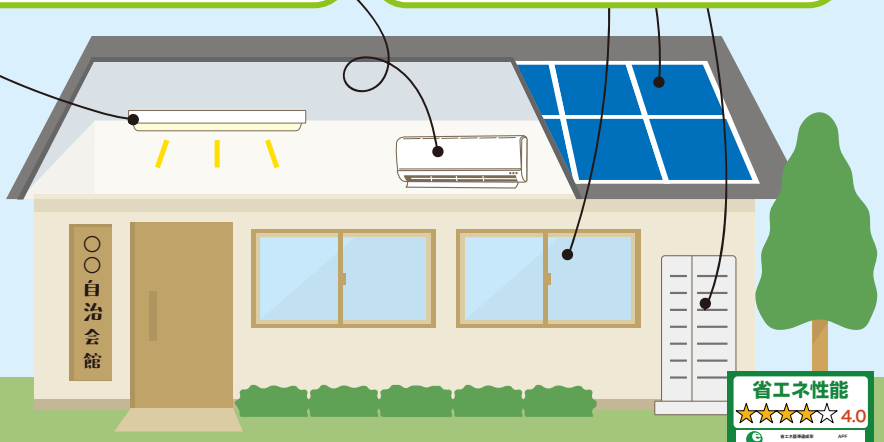

蓄電池

補助上限額
合算で **200万円**

いずれかの実施でも申請ができます。
※断熱窓：会館の状況により、補助基準に合う
製品が見当たらない場合はお問合せください。

対象製品の要件、申請手続き等の詳細は「募集案内」をご確認ください。

横浜市 会館脱炭素





統一省エネラベル：家電の省エネ性能を分かりやすくラベルで表示したもの。
星の数が多いほど省エネ性能が高いことを表しています。

対象団体

会館を所有している※ **自治会町内会**（地区連合町内会を含む）

※会館を自己所有していない場合や、集合住宅等の集会所を活動の拠点としている町内会等も補助対象となる場合があります。
詳しくは募集案内をご確認ください。

申請期限

令和８年~~10月30日(金)~~まで

11月２日(月)の受付再開後、申請期限は
12月25日(金)までに変更となります！

※予算上限に達し次第、申請受付を終了します。

※令和９年２月末までの整備完了が対象

令和８年４月発行

導入効果

LED 照明器具

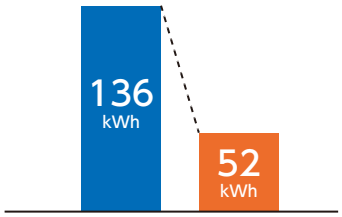
年間 CO_2排出量　1台あたり

約 **38kg 削減！**

年間電気代

約 **2,600円おトク！**

年間消費電力量（kWh/ 年）



出典：スマートライフおすすめ BOOK2023 年度（蛍光灯シーリングライトの年間消費電力量部分）
※今回の対象製品（令和６年１月時点）の平均値との比較
※年間電気代は、年間消費電力量に電力料金目安単価 31 円 /kWh（税込）を乗じて算出
※電力の CO_2排出係数は 0.45kg-CO_2/kWh で算出

エアコン

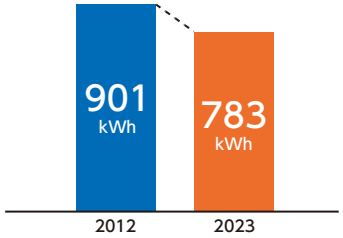
年間 CO_2排出量　1台あたり

約 **53kg 削減！**

年間電気代

約 **3,700円おトク！**

年間消費電力量（kWh/ 年）



出典：スマートライフおすすめ BOOK2023 年度（2012 年製品の年間消費電力量部分）
※今回の対象製品（令和６年１月時点）の平均値との比較
※年間電気代は、年間消費電力量に電力料金目安単価 31 円 /kWh（税込）を乗じて算出
※電力の CO_2排出係数は 0.45kg-CO_2/kWh で算出

断熱窓

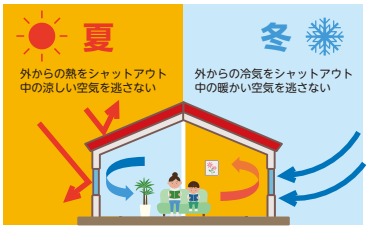
冷暖房費削減効果
（施工前との比較）

年間 CO_2排出量

約 **340kg 削減！**

年間電気代

約 **23,600円おトク！**



出典：民間事業者が一般公開しているシミュレーションによる
※躯体の断熱性能は、リフォームの場合は昭和 55 年省エネ基準適合レベルでそろえて算出
※年間電気代は、年間消費電力量に電力料金目安単価 31 円 /kWh（税込）を乗じて算出
※電力の CO_2排出係数は 0.45kg-CO_2/kWh で算出
※戸建て、窓 10 枚で算出した数値

※一定条件のもと、住宅での使用を想定したものであり、自治会町内会館の実際の使用状況により、導入効果は異なります。

手続きの流れ

意思決定・書類準備 ▶ 補助申請 ▶ 交付決定 ▶ 契約・着手 ▶ 施工業者へ支払 ▶ 完了報告 ▶ 交付額確定 ▶ 補助金の請求 ▶ 補助金の振込

補助申請

申請方法：
Ｅメール･郵送･委託先の横浜市住宅供給公社の窓口への持参（予約制）

申請期限：
令和８年 12月25日（金）

なお、見積徴収・契約する事業者は横浜市内の事業者である必要があります。「募集案内」を必ずご確認ください。

完了報告

令和９年２月26日（金）まで

設備導入後、アンケートや普及啓発の取組に協力いただくことがあります。

申請書提出・問合せ・訪問アドバイザー事前予約

事務委託先　横浜市住宅供給公社 街づくり事業課

電話　**045-451-7740**

※おかけ間違いにご注意ください
※ご来社の際は、事前にご予約ください。

Ｅメール　yokohama-shoene@yokohama-kousya.or.jp

受付時間
平日 9:00～17:00

アドバイザー派遣のご相談

**建築士が会館を訪問し、設備導入の際の工事内容、付帯工事の有無、注意点に関するアドバイスを実施（１時間程度）。
相談・訪問にかかる料金は無料です。**

※ 訪問する建築士は、横浜市が契約をしている事業者です。現地訪問は、調整の上、土・日曜日、祝日も可能。ただし、アドバイザー派遣まで、２週間ほどお時間をいただきます。
※ 事前の調整なしに、横浜市の派遣により事業者が訪問することはありません。
※ アドバイザーは、特定の事業者を紹介することはできません。

事業実施主体：横浜市市民局地域活動推進課

自治会・町内会 WEB ページリンク

掲載希望調査

１　調査の目的

青葉区連合自治会長会では、自治会・町内会活動の周知や加入促進につなげるため、各自治会・町内会で管理されている WEB ページへのリンク掲載を行っています。

以下の WEB ページへのリンク掲載希望を確認するため、掲載希望調査を実施します。

掲載を希望される場合は、本調査にご回答ください。

掲載先① 青葉区連合自治会長会（区連会） WEB ページ	https://www.aobakuren.net/area.html
掲載先② 地域情報サイト「JichiCa」	https://jichica.jp/

２　こんな場合にお申し込みください

☑ 自治会・町内会のＷＥＢページを広く周知したい

☑ 現在掲載されているリンク先 URL を変更したい

☑ 掲載されている URL が誤っているので修正したい

３　回答方法

次の URL 又は二次元コード（電子申請・届出システム）からご回答ください。

https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/b869b9df-af65-4fb3-bf71-9ad87867a96a/start

４　回答期限

令和８年 11 月 30 日（月）まで

裏面あり

5　区連会 WEB ページ掲載箇所イメージ



【問合せ先】

青葉区役所地域振興課　地域活動係

担当：小森、加藤

TEL：045-978-2291　　FAX：045-978-2413

MAIL：ao-chikatsu@city.yokohama.lg.jp

２ステップではじまるジチカ

1. 自治会の基本情報をJichiCaに送ります

基本情報の送信・
パスワード申請は
コチラから

横浜市　川崎市　相模原市　ほか市町村

2. ご希望の自治会様にログインパスワードを
お知らせします。管理画面で「私の自治会」
ページの更新や「回覧板」「記事投稿」の
ご利用が可能になります

お問合せ　045-913-4141（ジチカ担当・石井／宮下／藤巻）

無料で何ができるの？

①「私の自治会」「回覧板」ページの情報更新

ログインパスワードをお送りいたしますと、文章の入力や修正、写真や動画の掲載がご自身でできるようになります。

例：行事のチラシ掲載、活動報告など



②記事の投稿

地域の方々に向けたお知らせを投稿することができます。

例：夏祭りのお知らせ
　　ごみの出し方注意など





掲載例：
自治会ページ

ご案内：
有料プラン・機能

タウンニュースの自治会町内会まちづくり応援サイト

ジチカ
JichiCa
タウンニュース 神奈川自治会ナビ

ご案内資料



※スマホでサイトを
ご覧いただけます



JichiCa（ジチカ）とは？

「JichiCa（ジチカ）」は、タウンニュース社が展開している神奈川県の自治会・町内会まちづくり応援ウェブプラットフォームです。2026年4月1日にオープンしました。

タウンニュースがスムーズな導入を支援

1. 神奈川県内約7,300の自治会・町内会専用ページをご用意
2. デジタル化導入のコスト課題を解決
3. 紙の回覧板に伴う配布・回収の負担を軽減
4. 行政支援、加入促進

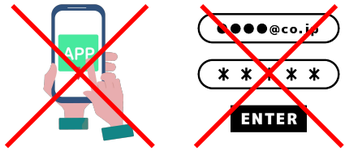
お問合せ　045-913-4141（ジチカ担当・石井／宮下／藤巻）

2026.09

アプリ不要の専用ウェブページ

閲覧はサイトにアクセスするだけ！

面倒なアプリのダウンロードや会員登録は不要！
サイトにアクセスするだけで、誰でもブラウザから地域の自治会情報や年間行事を閲覧できます。



自治会名や住所から自治会を検索

地域の自治会を簡単検索

町名や自治会名から、自分が属する（または探したい）地域の自治会を検索することが可能です。



手軽に自治会情報公開

私の自治会　回覧板

自治会基本情報を受付中

裏面の「３ステップではじまるジチカ」の二次元コードからお送りいただいた情報をタウンニュースが作成・編集・公開します。

自治会紹介や年間行事などの基本情報を公開できます。



「マイジチカ」ですぐにアクセス

自分の住む地域や、離れて暮らす家族の自治会を「マイジチカ」としてお気に入り登録しておくことで、アクセスが簡単になります。



地域情報を集約

自治会からのお知らせだけでなく、防災・防犯情報、行政広報紙、ごみ収集曜日、地元のニュースなどが一つにまとまっています。※情報は自動で更新されます

防災防犯

災害・防犯の発生情報
防災拠点情報



行政

行政からのお知らせ
各種広報紙



生活

ごみ収集曜日
分別情報



タウンニュース

タウンニュースから
地域の情報をお届け



自治会運営を、もっとラクに。

アプリのダウンロード不要！
すぐ見て使える



JichiCa（ジチカ）
タウンニュース 神奈川自治会ナビ

専用ページ内有料機能のご案内

JichiCaは、タウンニュースが運営している**神奈川県の自治会・町内会まちづくり応援ウェブサイト**です。神奈川県内約7,300の自治会・町内会専用ページを提供。デジタル化のコスト課題解決や紙の回覧板の負担軽減を通じて、持続可能な自治会運営支援・加入促進を実現します。

自治会専用ページでこんなことができます

サンプルページはこちらから

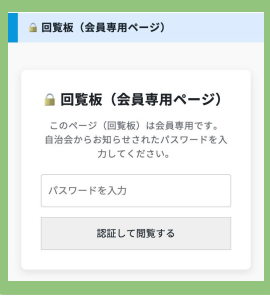
わかる
名簿・集金管理

会員情報をデータで一括管理。集金状況の簡単チェック、班ごとのデータ管理、印刷機能にも対応しています



あんしん
カギつき回覧板

パスワードで見られる人を限定できるので、安心して情報を共有できます



便利
印刷用PDF化

印刷すれば紙の回覧板やチラシに。スマホで読める二次元コードも入ります



残せる
データ保管庫

大切な資料やデータを保管できます。役員の引き継ぎもスムーズに行えます



更新・運用もタウンニュースにお任せ！　詳しくは裏面で

2026.10.1

運用おまかせ

タウンニュースプラン

更新作業は**タウンニュースにお任せ**！
すべての機能が使え、**お得で手間いらず**

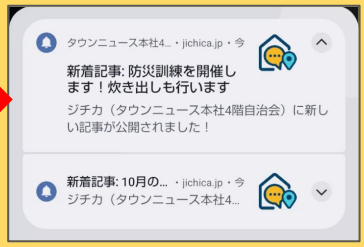
月額 **15,000** 円

「プッシュ通知」は タウンニュースプランだけ



新しいお知らせがスマホに自動で届く

重要な連絡や緊急情報もすぐに気づけます。見落としを防ぎ、内容をサクッと確認できる便利な機能です。



ほしい機能・プランが選べる！定額料金

世帯数が増えても追加料金は発生しません。予算管理もラクラク！

機能の詳細は こちらから

自治会専用ページ内機能一覧	無料プラン	オプション機能/月額 ※	タウンニュースプラン
「私の自治会」更新・記事投稿 自治会紹介や年間行事の更新、お知らせ記事の公開	○	○	○
回覧板 デジタルで回覧板情報をまとめて発信。いつでも情報も見直せる	○	○	○
タブ追加（最大３つ） 子ども会・老人会・環境美化などオリジナルページを作成	—	1,000円	○
印刷用ＰＤＦ化 紙の回覧板や掲示板用に。二次元コードも生成、スマホでも読める	—	1,000円	○
クイックアンケート 賛成、出欠などの集計に活用。多数決をクイックに集計	—	1,000円	○
SNS表示 自治会公式SNS（X・Instagram・LINE・YouTube）に簡単アクセス	—	1,000円	○
カレンダー機能 行事予定をスマホでいつでも確認できる	—	1,000円	○
フォーム作成 自治会館や会議室の利用予約などWeb上での入力申請書式を作成	—	1,000円	○
回覧板にパスワード設定 会員のみ回覧板を閲覧できるパスワード機能	—	3,000円	○
名簿管理 会員データや集金情報をまとめて管理	—	5,000円	○
アーカイブ＝データ容量購入・10GB 過去資料や引継ぎデータを保管・管理	—	5,000円	○
サポートプラン 私の自治会・回覧板タブ更新、記事投稿をタウンニュースにお任せ	—	10,000円	○
プッシュ通知 新着情報や緊急情報がリアルタイムにスマホに自動通知	—	—	○

※価格は全て税抜　※機能料金・プランについては年間契約となります　※お支払いには銀行口座のご登録が必要です。月額利用料をご登録口座より引き落としいたします

JichiCa（ジチカ）
タウンニュース 神奈川自治会ナビ
タウンニュース　JichiCa（ジチカ）担当
☎045-913-4141（平日9時～17時）

お問合せフォーム（24時間受付）

あおばちえのわ
地域の課題解決応援講座



＼災害の多い今こそ！／

自治会 町内会 の底力（ソコヂカラ）

～災害時に活きる人と人とのつながり～

2026年12月12日（土）10:00~12:30

青葉区役所　３階会議室

対象 青葉区内の自治会・町内会の運営に携わっている方

いざという時のために、いまできることは何か。
人と人とのつながりを切り口に、自治会・町内会の役割や地域づくりについて
みんなで考える講座です。

防犯!?
感染症流行!?
風水害!?
震災?!

第一部　事例紹介

地域の居場所づくりが育む「いざというとき」の支え合い

“防災”と“居場所づくり”を活動の両輪として取り組む自治会の実践例を紹介。
日頃のつながりが、災害時や困った時の支え合いにどう活かされるのか考えます。

第二部　すごろくワークで座談会



自治会・町内会って本当に必要ですか？

いざという時に助け合える地域であるために、自治会・町内会に求められるものは？
オリジナルのすごろくを使いながら、参加者同士で楽しく本音で語り合います。

第一部　事例紹介



三鷹市井の頭一丁目町会 会長　竹上　恭子　氏

東京都三鷹市で町会長10年目。「防災」と「居場所づくり」を両輪に、
多様な住民の力を引き出しながら活動を展開してきた。
現在は会長交代を見据え、町会をよりよい形で次の世代につなぐため、
町会のあり方を模索している。

第二部　すごろくワークで座談会



元六角橋自治連合会 会長（NPO法人まち×学生プロジェクトplus 理事長）
森　勤　氏

神奈川区六角橋自治連合会会長時代には、“自分たちの街は自分たちで創る”を
合言葉に世代を超えた地域づくりを実践。学生に目を向け
「まち×学生プロジェクト」を発足。現在は同団体の理事長を務める。



すごろくファシリテーションマイスター（NPO法人まち×学生プロジェクトplus 副理事長）
原島　隆行　氏

「まち×学生プロジェクト」を森氏と共に立ち上げたもう一人の立役者。
世代を超えて対話を生み出す“すごろくファシリテーション”の立案者でも
あり横浜市各所でワークショップを開催している。

防災訓練はしているけど、
それだけでいざという時
本当に動けるだろうか・・・



近頃、災害が多くて不安。
いざという時のために
今から何かできることは
ないだろうか・・・



自治会町内会だけでは
限界がある。
地域の人や団体ともっと
つながりたいなあ・・・



ひとりひとりの小さな
「困った(ピンチ)」にも
力になれたら
いいのになあ・・・



漠然とした不安がある。何かしなければと思うけれど、何をしたらいいのか・・・
そんな自治会・町内会の皆さま、ぜひご参加ください。

対象

青葉区内の自治会・町内会の運営に携わっている方　20名程度

参加料

無料（お気軽にご参加ください！）

お申込み

右記URLより、11月29日（日）まで

お申込みは
こちら

青葉区地域振興課地域力推進担当　☎045-978-2286　ao-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp